

2007年4月18日

各位

小野薬品工業株式会社  
広報室  
TEL：06-6263-5670  
FAX：06-6263-2950

### 過活動膀胱治療剤「ステープラ<sup>®</sup>錠 0.1mg」製造承認取得のお知らせ

小野薬品工業株式会社（本社：大阪、社長：是金 俊治）は本年4月18日付で過活動膀胱治療剤「ステープラ<sup>®</sup>錠 0.1mg」（一般名：イミダフェナシン）の製造承認を取得しましたので、お知らせします。

「ステープラ<sup>®</sup>錠 0.1mg」は、杏林製薬株式会社が創製し、同社と小野薬品工業株式会社が共同開発した薬剤です。本剤はムスカリン受容体サブタイプのM3およびM1に対して選択的な拮抗作用を示す新規の抗コリン剤で、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善します。

また、本剤は膀胱選択性が高いことから、口渇（口内乾燥）を軽減できる薬剤ですので、過活動膀胱の患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待しております。

小野薬品工業（株）は、「ステープラ<sup>®</sup>錠 0.1mg」を適正にご使用頂くため、積極的な情報提供活動に努めますとともに、杏林製薬（株）との共同販売を通じて早期の市場浸透を図ってまいります。

承認内容は以下の通りです。

製品名	ステープラ <sup>®</sup> 錠 0.1mg (STAYBLA <sup>®</sup> Tablets)
一般名	イミダフェナシン (imidafenacin)
分類	過活動膀胱治療剤
効能・効果	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁
用法・用量	通常、成人にはイミダフェナシンとして1回 0.1mgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する

<参考>

過活動膀胱(OAB; Overactive Bladder)とは、膀胱平滑筋の過度の収縮によって引き起こされる疾患で、尿意切迫感、頻尿、切迫性尿失禁などの症状を引き起こします。日本排尿機能学会の疫学調査によると、40歳以上の男女全体の12.4%、約810万人が日本における過活動膀胱の潜在患者であると推定されています。

以上